

ユニバーサルデザインの広がり

Spread of Universal Design

巻頭言

一人ひとりの安心と笑顔のために

Toward Comfortable and Enjoyable Functions for Each Individual User

ユニバーサルデザイン（UD：Universal Design）とは、障がいの有無や、年齢、性別、国籍、人種などにかかわらず、できるだけ多くの人が利用できるように商品やサービス、建物、空間などをデザインすることを言います。

東芝グループは、これまでもUDの考え方に基づいたモノづくりに力を入れており、東芝レビューでは、2003年の10月号ではじめてUDの特集を組み、東芝グループの活動や成果を紹介しました。それから6年余り、グループ企業として、それぞれの事業分野におけるUDの方向性を束ね、グループを横断するUDの推進体制を整備しました。よりいっそうお客さまに喜んでいただける商品の創出を加速するために、東芝グループが共有すべきUDの規範やプロセスなどを定め、それを商品開発に織り込む活動を推進しています。

家電から、デジタルプロダクト、公共機器や医用機器、社会インフラシステムに至るまで、様々な分野を手がける東芝グループにおける共通のUD理念を「一人ひとりの安心と笑顔のために、価値ある商品を創造します」と決めました。お客さまの多様性を理解し、できる限り多くのかたに満足していただける商品を提供することによって、より快適な生活と安心して暮らすことのできる社会の実現に貢献することが東芝グループの目指すUDの姿です。各事業分野では、この理念に基づいて、より詳細で具体的なUDの基準を定め、これまで以上に快適に安心して利用できる商品づくりに努めています。UD商品の創出のためには、ひとりでも多くのお客さまの声に耳を傾けることが、いっそう重要となります。お客さまの意見や要求を起点として、様々な職種や立場の開発メンバーが一丸となって試作と検証を繰り返す人間中心設計（HCD：Human Centered Design）をUDのプロセスに決めました。これまで以上にお客さまの視点による開発に励んでいきます。

東芝グループは、“使えない”を“使える”、“使いづらい”を“使いやすい”と実感できるデザインを目指すとともに、人々が安心して笑顔で暮らすことのできる社会の実現を目指して、より多くのかたに“使いたい”と思っていただける魅力ある商品を創出し続けていきます。



井上 雅弘
INOUE Masahiro

デザインセンター長 Design Center